

仙北市地方創生・近未来特区

～農林・医療などの総合的な交流拠点を目指して～



1. 仙北市とは

- ・平成17年 田沢湖町・角館町・西木村が合併して誕生
- ・人口28,317人（10,787世帯）

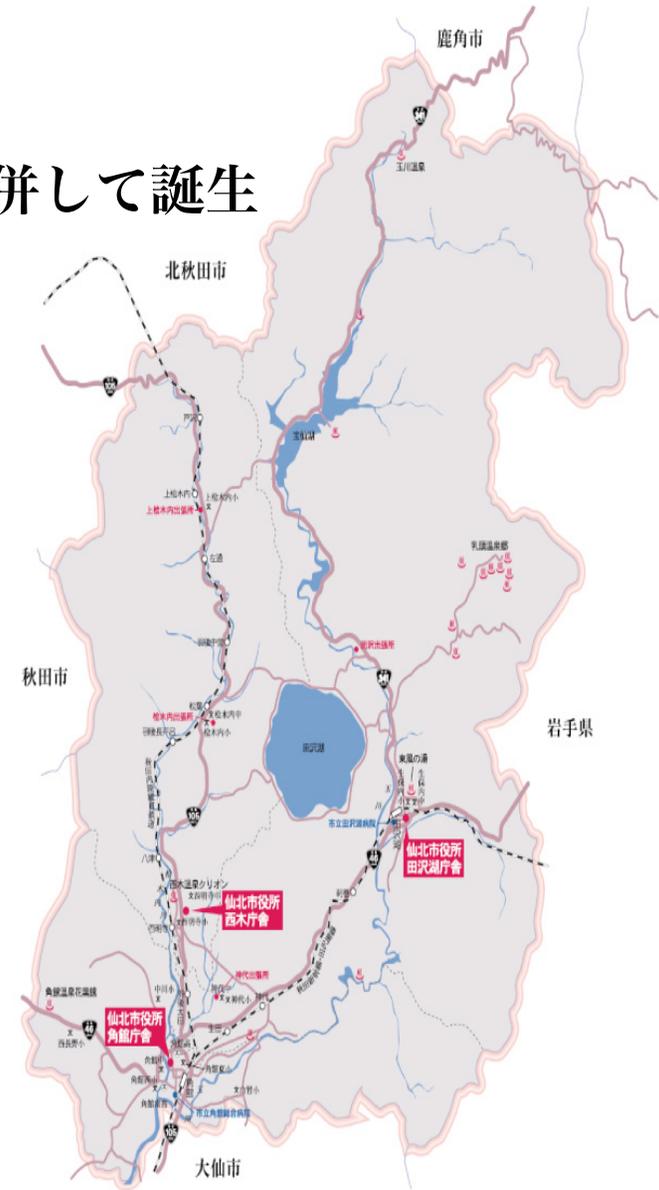
(1) 市町村合併が産んだもの

全国屈指の圧倒的なポテンシャル

たとえば、
観光・文化・スポーツ・産業...etc



(2) 夢を描く



2. 地方創生特区制度とは

Q.地方創生特区とは？

- 国家戦略特別区域法の「特区」を進化させ、特にやる気のある地方の自治体が規制改革により地方創生を実現することを目的とした「地方創生特区」として指定されたもの。
- 自動飛行や遠隔医療などの新しい技術の実証をするための規制改革を行う「近未来技術実証特区」も含む内容となっている。

Q.「特区」で何ができるのか？

- 「特区」に指定されると、その区域からの申出により規制の緩和を国が検討し、その規制緩和が実現したときには、その特区内で緩和された内容での活用ができる。
- 規制緩和を活用して地域の産業や経済が活性化し、雇用や所得の向上に結び付き、地域の人口が増え、結果として地方創生が実現される。

★ポイント★

- 特区に指定されただけでは何も起きない
- 地域活性化に結び付く規制緩和の発案と、それを行う事業者の存在が不可欠

3. 特区指定に挑む

(1) 地方創生特区の提案素材

- ①農林業の課題
 - ・森林の民間活用
 - ・耕作放棄地対策
- ②医療の課題
 - ・医師不足
 - ・温泉の医療活用

(2) 近未来技術「ドローン」実証特区の狙い

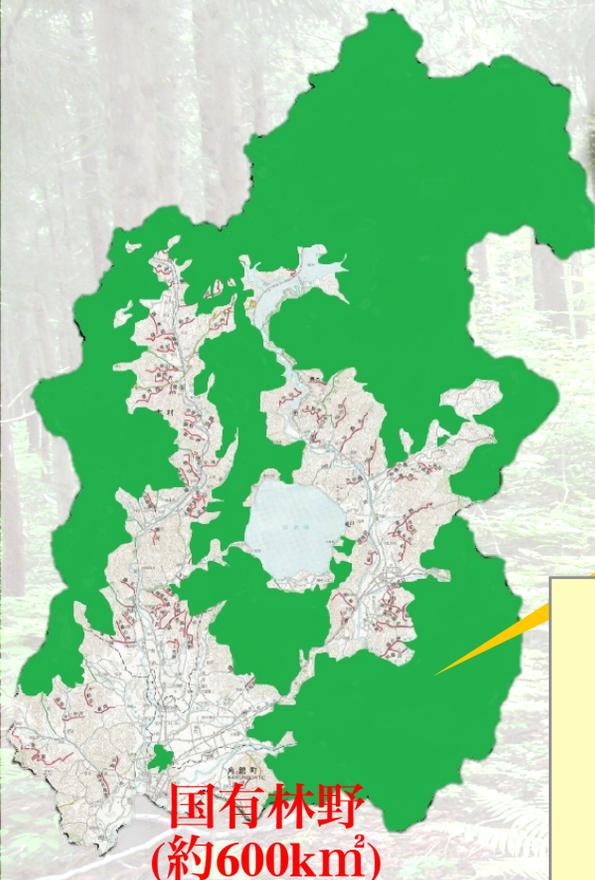
- ①技術開発の拠点づくり
- ②開発者等人材の招へい
- ③製造企業の誘致

4. 国有林野の活用促進

民有林と併用した効率的な林業経営や6次産業化を推進することで、日本一活発な農林業地域を目指し、さらにはドローン技術を活用した最先端の安心・安全なまちづくりを進める。

国有林野の管理経営に関する法律の特例

農業生産法人に係る農地法等の特例



質の良い森林の再生
地域経済の活性化

農林業の振興
各種産業への波及効果

新たな雇用創出
担い手不足の解消

民間投資の拡大

家畜の放牧・加工施設やレストランの整備
国有林を活用した自然とふれあう環境整備
(ネイチャーゲーム等)

自律飛行の技術実証



5. 高齢者の就業時間の柔軟化を活用

第1回区域会議 [H27.9.7]

①国有林野活用促進事業（1事業） ②農業法人経営多角化等促進事業（1事業）



■市の現状

- ・ 第1次産業従事者は年々減少傾向にある
平成17年国勢調査→平成22年国勢調査 389人減（約17%減）
- ・ 第1次産業に従事する若年層が少ない
15～49歳：268人(16%) 50歳以上：1,390人(84%) ※平成22年国勢調査
- ・ 高齢化率36.8%の過疎地域

➡ **元気で労働意欲のある高齢者に仕事を提供し、1次産業の労働力を確保する**

国家戦略特区高齢年齢退職者就業促進事業の活用



認定された特区事業に派遣されることも想定され、さらに地方創生を推進する環境が整う！

6. 農業生産法人に係る農地法の特例の活用

■新たに1事業者を追加

株式会社 田沢湖自然ファーム（秋田県仙北市）

仙北市内にて放牧家畜の飼料栽培を行う。

- ・飼料米、穀物等【平成28年6月から】
- ・特別なブランド豚の確立に取り組む。
- ・自社放牧の豚で長期熟成型の生ハムの加工、販売に取り組む。

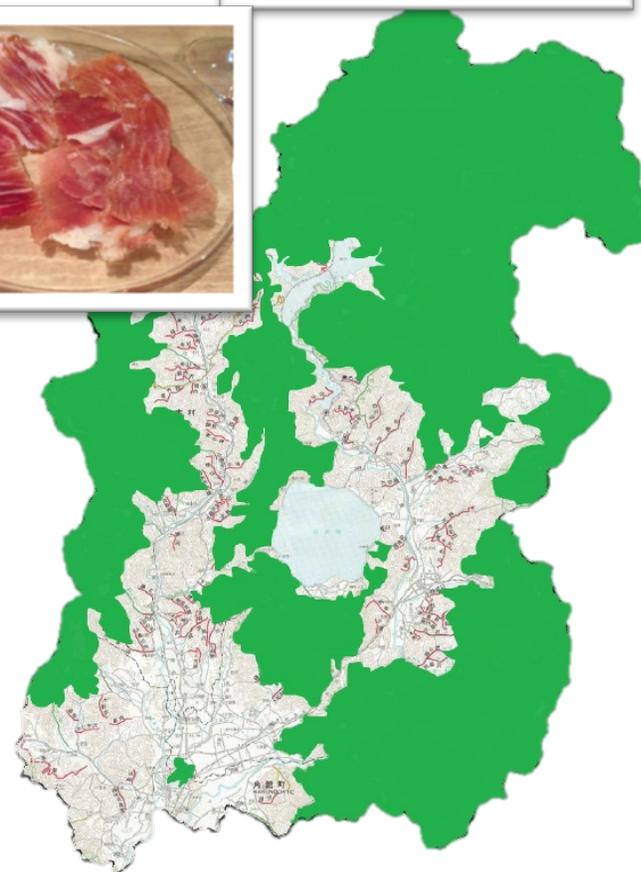


国有林野の管理経営に関する法律の特例

有限会社 グランビア（東京都）

- ・豚の放牧、生産加工所、農園事業等により、食産業の振興を図る。

農業の6次産業化を加速



7-1. ドローンに関する取り組み

◆近未来技術実証特区検討会 in 仙北市

開催日：平成27年7月19日（日） 会場：たざわ湖スキー場 天候：雨、濃霧
参加者：平 前内閣府副大臣、小泉 前大臣政務官、(株)自律制御システム研究所ほか
野波千葉大学特別教授によるドローン自動飛行のデモンストレーションを実施

飛行経路：ゲレンデ斜面に沿って(約50メートル上空)
速 さ：毎秒5メートル
飛行距離：約1キロ×往復



**雨天でも正確な飛行が
できることが実証された**

◆ドローンを用いたロボットプログラミング講座の開催

◆ロボットプログラミング学習研究の推進拠点校を指定

指定日：平成28年1月29日（金） 仙北市立西明寺小学校を指定



7-2. ドローンに関する取り組み

◆ドローンと秘匿通信による
図書輸送の実証実験



◆ドローンによるソメイヨシノの撮影会



7-3. ドローンに関する取り組み

◆東光鉄工株式会社との連携協定締結式

開催日：平成28年6月23日

(木) 会場：仙北市田沢湖庁舎

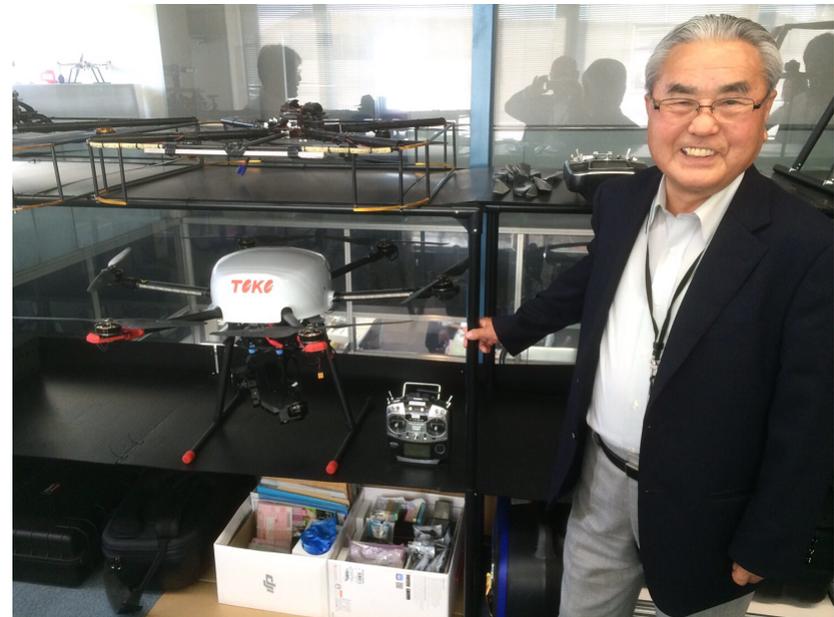
概要：県内唯一のドローン設計・製造メーカーである東光鉄工株式会社との連携により、近未来技術実証特区の事業推進を図る



◆東光鉄工株式会社視察

開催日：平成28年7月22日 (金)

視察場所：釈迦内工場および本宮工場



7-4. ドローンに関する取り組み

◆ドローンインパクトチャレンジ アジアカップ2016

開催日：平成28年7月29日（金）
～31日（日）

会場：ホテル森の風田沢湖、角館交

流センター、抱返り溪谷

概要：地方創生シンポジウム、アジア8ヶ国のトップパイロットによるドローンレース



8. ドローン飛行の実証実験エリア

◆平成27年11月 「仙北市指定ドローン飛行エリア」を設定

位置：田沢湖高原スキー場跡地上空
アクセス：JR田沢湖駅から車で約20分
広さ：2km×1km（森林含む）
※試験設備等無し



※地図データ 2016 Google ZENRIN

- ・近隣には宿泊施設が多数
- ・平成28年度～環境整備 草刈、看板等

●
飛行エリア

●
JR田沢湖駅

●
JR角館駅

9. NPO法人の設立手続きの迅速化

現 状

急速化する人口減少・少子高齢化により、まちづくりの担い手が不足

仙北市協働によるまちづくり基本条例

市が目指す方向性

【理念】

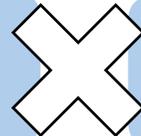
地域が有する自然・歴史・文化・人材などあらゆる地域資源を最大活用し、お互いを助け合いながら活力に満ちた地域社会やコミュニティの発展をめざし「市民が主役のまちづくり」を進める。

◎規制緩和の活用

NPO法人の設立等認証に係る縦覧期間の短縮：2か月→2週間
※秋田県が所轄庁として実施

NPO法人の設立を促進

【地域活動・コミュニティビジネスの担い手】



仙北市

協働したまちづくりを加速

地域活性化及び地方創生の取組を推進

1.0. 温泉活用・湯治型ヘルスケアの推進

石破地方創生担当大臣による視察

【H27.7.5】



医療と国際交流

- ・外国人医師等が行う臨床修練等に係る特例単独の診療所において、臨床修練制度を活用した外国人医師による診療



- ◆豊富な泉質の温泉を保有（8種）
塩化物泉、炭酸水素塩泉、硫化塩泉、
硫黄泉、単純温泉、含鉄泉、酸性泉、
放射能泉

◆市立病院と診療所、民間医院

◆市内の宿泊・温泉施設
宿泊キャパシティ7,000人

◆岩盤浴地発祥の地

玉川温泉

◆源泉は、毎分9000リットル、温度98度の強酸性泉。

湧出量は日本一！
全国各地から温泉療養に訪れる湯治客でにぎわう一大湯治場。

◆北投石の存在するラジウム系温泉は、仙北市の玉川温泉と台北市の北投温泉の二箇所のみ。

仙北市と台北市は
北投石が結ぶ温泉
提携協定を締結

健康増進・国際交流の推進、岩盤浴地の冬期再開

外国人も含めた温泉活用・湯治型の医療ツーリズム推進

- 現状**
- ・救急病院の減少と、病院の休止診療科等による空きスペースの存在
 - ・日本の温泉文化と本市保有の多種多様な泉質



搬送時間は最長で2時間弱



塩化物泉・炭酸水素塩泉・硫酸塩泉
硫黄泉・含鉄泉・酸性泉・放射能泉・単純温泉

多種多様な泉質の効能が活かされていない

このままの医療体制では不十分！

- ・湯治を活かした新しい医療ツーリズム

- 外国人医師を招聘しやすい環境となることで救急病院の復活
- 多種多様な泉質を活かし、湯治型の医療ツーリズムを推進

1. 内外の湯治ニーズに対応した外国人医師の受入促進

◆各種規制・効果

- ・二国間協定により、日本人への診察行為の禁止、公的医療保険の利用はできないとされている。
規制を撤廃し、日本人への自由な診察行為を可能にする
- ・外国人医師等の修練対象は大学病院等に限定されているため、本市には対象施設がなく招聘することができない。
修練対象施設を医療業務を行う診療所までに拡大する



国内外の温泉療養にも対応

2. 病院内の空きスペースを利用した個人診療所の開業解禁

◆各種規制・効果

- ・一施設内に異なる医療機関が同居する場合「患者の診療に直接供する施設は、区画上独立させなければならない」
管理主体の異なる診療所を区画上独立させることなく開設できるようにする。
病院内で、休止診療科・休止病棟となっているスペースの全部又は一部を区画上独立させず、診療所の開設を可能にする。



常勤医師の過重労働の負担軽減 地元医師会や診療所との連携強化 若手医師の開業支援

3. 温泉療養への保険適用

◆各種規制・効果

- ・健康保険法の療養の給付の対象である「診察」に、温泉療養が含まれていない。
温泉療養による一連の行為を診察行為とする
温泉施設で患者への入浴指導、ケアを行う温泉療法士等を国家資格とする。
- ・温泉型健康増進施設に認定されるためには14項目をクリアしなければならず、認定基準が厳しい。
温泉型健康増進施設の認定基準である14項目を5項目に緩和する。



自然治癒能力が高まる（医療費の抑制） 新たな医療ツーリズムの創出
国内外観光客の誘客（観光地の安定成長）

1.1. 提案している規制緩和事項

【第4回仙北市国家戦略特別区域会議での提案内容】

◎農家民宿等の団体が行う農林業体験サービスにおける旅行業法の適用除外

現 状

- ・農家民宿個々での運送・宿泊サービス提供は旅行業法に抵触しない【複数の農家民宿へグリーンツーリズムの利用希望があった場合】
農家民宿：市内の農家民宿等で構成される団体ができる業務は、受付と農家民宿への振り分けに限定
旅行会社：企画から募集、実施、各農家民宿への支払い

提 案

仙北市特区において、農家民宿等で構成される団体等については、市内にて催行する旅行（着地型旅行商品）の企画、契約、募集、実施、代金回収を容易にする。

観光客を地域内に循環させ、経済波及効果やまち全体の活気につながる

【観光客数の推移】

(単位：人)	平成25年	平成26年	平成27年
宿泊者数	565,250	535,109	536,505
うち外国人宿泊者数	7,859	12,172	22,200
農家民宿 宿泊者数	10,057	10,214	9,405
うち農家民宿 外国人宿泊者数	300	565	801



12. 提案している規制緩和事項

◎労働時間貯蓄制度の一般化【第4回仙北市国家戦略特別区域会議での提案内容】

制度概要（1990年代後半にドイツで普及）

各労働者の勤務時間を労働時間口座で記録・管理し、1日8時間を超える時間外労働を主として休暇で保証する仕組み。口座に貯蓄した時間外は複数年にわたって通算可能。

現 状

事業場で労使協定を締結すれば、1か月に60時間を超える時間外労働を行った労働者に対して、割増賃金の支払いに代えて、有給休暇を付与することができる。（労働基準法）

提 案

より一般的・包括的な制度とする。

働き方の柔軟性を高め、ワーク・ライフ・バランスの改善につながる

	年間平均労働時間 ※1 (労働者1人当たりの時間)			時間当たりの労働生産性 ※2 (購買力平価換算USドル)		
	日本	ドイツ	ノルウェー	日本	ドイツ	ノルウェー
平成24年	1,745	1,407	1,451	40.1	58.3	86.6
平成25年	1,734	1,406	1,421	41.3	60.2	87.0
平成26年	1,729	1,397	1,420	41.3	63.4	85.6

※1 OECD東京センター 主要統計 (年間平均労働時間)

http://www.oecd-ilibrary.org/employment/average-annual-working-time-2013-1_annual-work-table-2013-1-en

※2 公益財団法人 日本生産性本部 労働生産性の国際比較

http://www.jpc-net.jp/intl_comparison/

13. 国家戦略特別区域諮問会議

【H28.10.4】 国家戦略特別区域諮問会議

- ◎議長：内閣総理大臣
- ◎議員：内閣官房長官
国家戦略特区担当大臣
内閣総理大臣が指定する国務大臣
民間有識者
関係大臣（必要に応じ参加）

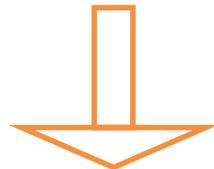


報告

国際ドローン協議会の開催（平成28年7月）
生ハム用の豚20頭の試験放牧（平成28年8月）
玉川温泉で外国人医師の受け入れ（平成29年6月）

提案

農家民宿などが行う旅行企画の解禁



農村文化や習俗、日々の暮らしの魅力を国内外へ提供

14. 新たな提案（私案）

- (1) ジビエ特区
 - (2) 無人自動車実証特区（近未来実証特区）
 - (3) ビザなし観光特区（外国人定住特区）
 - (4) 長男・長女結婚応援特区
 - (5) 子育て育児休業特区
 - (6) 法人税減税特区
 - (7) 認可前薬の臨床特区
 - (8) 民泊特区
 - (9) サイバーテロ対策特区
- • • etc



ご静聴いただき
ありがとうございました。
た。

【担当】

秋田県仙北市総務部地方創生・総合戦略室

〒014-1298

秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30【田沢湖庁舎】

電話番号：0187-43-3315

ファックス：0187-43-1300

電子メール：sousei@city.semboku.akita.jp

URL：<http://www.city.semboku.akita.jp/>